

令和 8 年度 スマートシティ伊勢推進協議会 第 1 回担当者会議 議事概要

- 1 日 時 令和 8 年 6 月 11 日 (木) 10 時 00 分から
- 2 場 所 伊勢市役所 本庁舎 東館 5-3 会議室
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 概 要 下記のとおり

○ DX コーディネーター 兵藤氏の紹介

○ 令和 7 年度活動報告

生成 AI に関するセミナーと視察を行ったこと等を、事務局の柘植より報告。

○ 各団体におけるデジタル化等に関する取組の共有

伊勢農協 喜早営農部長：

- ・ 苗の引き取りを QR コードでできるようにしていて、在庫管理をデジタルでできるようになってきた。
- ・ 農家さんから好評をいただいている。
- ・ アプリの中で、どこに行ってほしいという表示もできる。
- ・ 手打ち業務がなくなってきた。

小俣町商工会 岡谷経営指導員：

- ・ 決算資料の電子申告
- ・ 補助金申請のデジタル化
- ・ 情報発信の SNS 化

観光協会 谷事務局長：

- ・ 情報発信の AI 活用
- ・ ガイド予約のデジタル化 (エアリザーブ)
- ・ キントーンを活用した手荷物預かりもやってみたが、手書きの方が早い面もある。

商工会議所 江崎企画推進室課長：

- ・ 補助金申請のデジタル化
- ・ 観光案内人受付のデジタル化、キャッシュレス化 (外宮・内宮)

医師会 鳥堂事務長：

- ・ LINE WORKS による情報共有を最大限活かしていくため、利用者の登録を進めようとしたが、現場のニーズに合っていないのか進まない。
- ・ まずは事務局内だけでも省力化しようと Microsoft365 を導入したが、これまでの仕事の

やり方から変わっていない。

- ・停電時の電源喪失対策も課題として感じている。

社協 前村事務局長：

- ・AI 議事録や Canva、ChatGPT 等のツールを導入して省力化を進めている。
- ・しかし、全職員向けの研修は行っておらず、一部の職員の利用に留まっており、口コミで広がらないと定着が難しいと感じている。
- ・部門が 64 に分かれており会計処理が煩雑であったが、年会費無料で経費ごとにバーチャルカードを即時発行・管理できるシステム（バクラクカード）を導入したことで管理が非常に楽になった。
- ・今後は、クレジットカードの取引データ（CSV）を会計ソフト（TKC）へ自動で取り込み、仕訳を自動化できるかテストを進めるとともに、経費精算システムの OCR 機能の活用も進めていく予定である。

○ 今後の取組

事務局より、今後の取り組みとして「先進地視察」「市役所職員向けの基礎的なデジタルスキル研修への参画団体職員の参加受け入れ」「地域の事業者や市民に向けた学習ニーズ調査（アンケート）の実施」の 3 点について提案し、意見交換を行った。

- **研修の実施方法について：**医師会より、職員数が少ないため長時間の離脱は難しく、ハイブリッド（オンライン）形式での参加を可能にしてほしいとの要望があり、事務局もハイブリッド開催を了承した。
- **研修の内容について：**観光協会より、参加者のスキルにばらつきがあるため「これを使うと良い」と具体的なツールに絞って教えてもらえると分かりやすいとの意見があった。また、事務局からは、属人化やブラックボックス化を防ぐため、マクロ等の高度な内容までは行わず基礎レベル（Excel の初心者～基礎の関数程度）を想定している旨を説明した。社会福祉協議会からは、Excel 研修の際には操作ミスでデータが戻せなくなる等の「注意点」も含めて教える必要があるとの意見が出された。
- **ニーズ調査について：**商工会議所より、商工労政課等が実施する調査と合わせて行えないかとの提案があり、事務局は調査項目に組み込む形での調整が可能であると回答した。

最後に事務局より、ニーズ調査の項目は事前に各団体に相談の上で決定すること、また、研修はハイブリッド形式を採用し完全自由参加とする旨を確認し、閉会した。